

## ■まえがき

本書は、平成16年に発刊された「細幅箱桁橋のコンセプトと設計例」の改訂版となります。細幅箱桁橋は、開発されてから20年近くになりますが、最近では合理化構造の橋梁形式としての認識が広まり、多くの橋梁に採用されるようになりました。そこで、平成29年の「道路橋示方書・同解説（以下[道示]）」改定に伴い、タイトルを「細幅箱桁橋の設計例と解説」に改め改訂することと致しました。

今回の[道示]改定では、橋に求められる要求性能として、鉛直方向の作用に対してだけでなく、橋軸直角方向に作用する横荷重に対しても耐荷性能の確保が求められるようになりました。そのため、本書では、それらの組合せを考慮した耐荷性能の照査の例を示しています。

また、細幅箱桁橋では、床版に鋼コンクリート合成床版が採用されるケースが多いことから、本床版形式を採用した場合の設計に関わる留意点についても言及しています。

このように、本書は新しい[道示]に準拠した細幅箱桁橋の計算例を示しておりますが、お気づきの点がございましたら、お知らせ頂きますと幸いです。

なお、本書はあくまでも一例を示したものであり、適用にあたっては、個別の諸条件を十分に考慮のうえ、御利用者様の責任において判断されますことをお願い申し上げます。

設計小委員会 設計部会長 掘井 滋則

## ●設計小委員会

委員長 三宅 隆文（日本ファブテック）

副委員長 小西 日出幸（日本橋梁）

## ●設計部会

部会長 ○掘井 滋則（横河ブリッジ）

副部会長○中嶋 浩之（巴コーポレーション）

部会員 ○北山 暢彦（IHIインフラシステム）

〃 段下 義典（川田工業）

〃 東 博年（駒井ハルテック）

〃 ○村田 保（佐藤鉄工）

〃 ○大島 昌益（JFEエンジニアリング）

〃 ○佐合 大（高田機工）

〃 ○上田 博士（瀧上工業）

〃 ○王 慶雲（日本車輛製造）

〃 ○渡邊 俊輔（エム・エムブリッジ）

〃 ○志熊 隆（三井住友建設  
鉄構エンジニアリング）

〃 小林 裕輔（宮地エンジニアリング）

〃 ○松田 岳憲（横河ブリッジ）

〃 西村 晃（IHIインフラシステム）

〃 前田 穰（大島造船所）

〃 岩田 幸三（川田工業）

〃 狩野 哲也（駒井ハルテック）

〃 木本 智美（JFEエンジニアリング）

〃 二葉 悟（高田機工）

〃 宮下 英明（日本ファブテック）

〃 中島 祐二（名村造船所）

〃 辻 丈彰（日立造船）

〃 藤森 豊和（北都鉄工）

〃 荒木 健二（エム・エムブリッジ）

〃 利根川太郎（横河NS  
エンジニアリング）

〃 村本 裕樹（横河ブリッジ）

○印：改訂WGメンバー